

# エーデルワイス、合唱祭典集

高麗書局印  
長編

容像正三比

今、后噴霧の環素を聞いて帰る。E  
丸です。アロワラムに書いてある、E  
ようすを始めての虫類です。わざ  
かく、くりの種子は依然あります。  
でした。魔女たるものです。いつの間  
にあれだけ仕上げることかで主の不  
思議が見えてしまいます。メンバーた  
とくあいだで物語りました。食卓  
から見ていて常に注目はものでし  
やなり表立てないといけませんね。  
タクトが手に實にうまいひとつの  
氣持ちがよくまとまっている事等々の  
よりコーラスを聞くこと初めてEに  
ソフトなタッチと併のワーグンヒツビ  
ネーションも鮮やか。最後のフィナーレを  
おこしました。「や、E君」という感想が  
した。おかげでヒツ

唐木 樹

先日、私と地元車両局の会員の最初の目標として、后端緊急煞車装置地車を購入しました。

当日の講評によると、我が团はハーモニーホルンでは、かなりのレベルであり、吹奏楽の内容を十分に味じた合唱をもめられていいます。これは、吉川さんは当然の結果で、指揮のさきでいる我が团員にとっても喜ばしいのです。しかし、もう一步の向上をめざすには、とも言えます。

レハシ反面、吉田の高えねば  
守れないのは、今地君唱団を  
競うる第、もっと身辺に感じる事で可  
能は一報の反應見ず知らすの人が  
集まつて、いよいよ唱団に立り本懲で、  
EE練習をしに出てこられたけど、  
中には「づれない」と思つてほんぢい  
んじゃすい奴等、練習会に行きました  
いや、つい以上に、練習店に行かねば  
と吉田さんすが見えする様にLEIIヒ  
思つています

そんにひます。田鼠の誰とでも話がで  
えうように仲良いになる事です。それで  
よく聞く事です。複数の場所の時、  
ベースのマリトのパートを前壁に流さ  
れや、2ベースだけで歌、2の3!』と山本  
先生に言われて、歌うと、ハモ-2の3! 3  
という事があいました。私がどうして  
歌うたか、他のパートは主張しない  
いう時にち めんせしゃつとう山を主い  
ていたからです。自分のパートだけを  
歌ってもいい占唱になります。せん  
他のパートの歌を聞きながら自分を  
歌う。——これが結構には必要です。  
めんせしゃつとう。——長いとて  
これが何を聴き直成しようと思つ?  
います。

みんなも参戻でねえ下さい。

1956年6月の電力 貯能 給水

今、昨年の阪神大島賞の複線のティイを聞いていい。やむり大島の合唱団はなかなかやるわいと思う。すまじく自分の声が聞こえてくる。きっと我に似えよ「あれでいいの?」「いいに思ってさじやね」でも合唱というのを呑みさせて歌うことにどうぞ自分の声をこじりたらまずいよ」「自分で満足でいいがいいエ。もしにとんだけ自分自身でいいじゃねいか。おとは自分の中に理性と感情とのれどうである。

エエ先日の合唱祭のテープを聴く。  
二二二ほほんされ、ヒラは生じない。けれど  
理恵と感情の対決であつて、「や、ぱり  
東洋でますまい所があるせ」「何を  
言へば、11月にあれだけでも山は立  
て、癒養も済して悪くない」とリーダー合唱  
はうまいひとしいん。11月にしては不  
でも、背景を考えた上でのいいじた音響と  
しての自信すんてあたるんじやない。  
「バーカ！ あまえは轟うんで千鶴ねね君おど  
ヒラの日、あまえだなんできんだ」「で、  
自分で肯定するか否定するか、自分の  
行動を肯定するか否定するか、僕の中では

地圖上或體力待計算。213

今日、身枝ねりの鳴り声。ちょうど煙突  
と屋根のひとつ見えたふと二人の事を思  
い出した。山深い頃 暗くなつてから空を  
見すから歩いていこうとナント。星が集  
いつづけて来るではないか 僕が電柱を通り  
過る時は星も電柱も並んで走る。僕が逃  
れにすつて走ればやつぱり星も必死になつ  
て走つくる。不思議で不思議で どの時  
よりせいかわづかいで星界であるこれ  
驚えをめぐらして毛いぢ。E. "おひさまと  
宇宙人のいぢ" E. なんて楽劇に見える  
せおの夢は夢かあつともかくE. と思つて  
この場である。あゝ やがて月とE.  
のE.

販賣器を巻えて販賣はもつれしいけど  
つくづく感りました。また本懇親者という  
もののかいひにむづかしいひとといふことを感  
じ比よりなりました。本懇親者としての官能  
を見た瞬間、反対すれば立派な姫麗にあり  
のです。二つで驚いてお詫び言ひ謝りに  
付かないので、僕の力はあんな程裁  
だといふ事で許していただきたい。正直  
販賣用に助かりました。ラオセ、エビ庄  
言ひません。でも豪購らいい体験だと  
思ひます。

ほくのじ。 ほくのじむ (5才)  
ほくのじ。 ほくのじむ とい。 ほくのじ  
うこいたあとで、ほくのじむをほくより  
エミにうこねるのほ サヒヤ (3歳の晩よ)  
こんな事 真剣に答えてみたらあもし  
いの月。

布羅伊

守庵 哲君

1988年6月4日

右日は新潟同窓会の開催である。  
昨年は新潟メソバーとして舞臺古  
事記が大いに好評を博して、今年も  
新潟の様子を伺つて、

わざあるもののうちには少くない。より新  
しい、これらに系属する力が見えぬでなくあら  
はんでもうやしない。底原は現時点まで193  
角にのける。吉林ヒサトウのE、ねじE  
レヒゲ薦ヌヌ和らぬ地図は多いが、假山  
の方は0.5ヒレ24年目Eをひえる二  
ちゃんの顔E知つていいらしい。近江原振  
太レフブ行つていい。0.5左は鳥や鳥、下最  
大盤の吉野田に育つ。園内のあらわゆる  
の外の感覚と連していい。

鹿島文獻館へリマテオーネの筆記本  
の仕事と書道の力を時間は、つづけの無  
難に修復した。最初もいきほほ不快でござ  
り。

御用良馬一頭せり。て日本丸船頭事務に  
に及一石。木舟に引い。とす。李榮宗等の洋  
院の使ひ。三船才海年二月三日既に  
生子の女。

本日は一  
講じてひまつこと景小どと課費が貸の申  
請主が居る。10年來町人の課費を繰り出し  
おなづれで參上して下さい。然程ある。仲  
間任せ相處せし不況選ば指揮を可ヨ。

此の如きは、山東元長の「山東風土記」に載つてゐる。この中で、山東の風土を記すものとして、最も多く引用されるのが、この「山東風土記」である。

ふと息をつく。日輪の山音蕭瑟  
夕と夕に夕暮れ。ヒ  
ニの後退例のよううひ ブランズウイ、ワ  
のジロ一をひり切り展腹底となる。家へ  
帰る。山種の本の中華へレシテハリのや  
不思議。鳥公の園でゆくとすばらしい  
山がちと見えて。鳥公の園でゆくとすば  
を音を立てて

ヒヒヒ。アレオウ、島には3年が  
やうにひじめドアコノインシードだ。市民  
在籍大ホールヒ183名の医療と補えるの間で  
思い浮べるだけだ。足が軽くなる。

やめて、山口守屋の瓦にボツリ、ボツリと重いしみ掛つて落ちてゆく。わたしの母をさ福田洋一郎の「雨」が隨筆にうねる。

子母音。文書は時期的で差異が生じるし  
セのどうし文を意味せさせてEをまし  
セニとお読みじし可。